

ニュースリリース

## 日本抗加齢医学会のアンチエイジング・ゲノム研究

世界初「アンチエイジング全ゲノム解析」プロジェクトで  
ジェネシスヘルスケア株式会社と提携

2019年4月25日

一般社団法人 日本抗加齢医学会

一般社団法人日本抗加齢医学会（東京都中央区、理事長：堀江重郎）は、学会に所属する医師、歯科医師、および国家資格を有する医療従事者らが自ら全ゲノム解析を受け、解析結果をアンチエイジング研究に役立てる「アンチエイジング全ゲノム解析」臨床研究プロジェクトについてジェネシスヘルスケア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：佐藤バラン伊里）と、提携いたします。

日本抗加齢医学会は、加齢現象や老化の研究が進む中、加齢の病的プロセスを予防する抗加齢医学を積極的に介入する方法を基礎医学、臨床医学の両面から追求し実践することにより、生活者のQOL（Quality of Life）の向上を図るとともに、抗加齢医療の提供によりいつまでも「ハツラツ」とした健康長寿を国民が享受し、社会貢献できる人口の増大と医療費の抑制に寄与することを目標としています。

本研究では、国内最大の遺伝子解析会社であるジェネシスヘルスケアが全ゲノム解析を行い、学会が加齢度の生理データおよび病歴・食事・運動習慣などの加齢調査票を組み合わせることで、アンチエイジングと関連する遺伝子群を探索するものです。また全ゲノム解析に加えて、遺伝子修飾（エピゲノム）による日本人の遺伝子年齢時計も作成します。

今後、遺伝子解析がベースとなったパーソナライズ医療の進展が見込まれる中で、この度の「アンチエイジング全ゲノム解析」は、世界初の画期的な試みとなります。さらに本研究が日本だけでなく世界の人々の健康寿命の伸長に大きく資することを期待しております。

以上

本件に関するお問い合わせ

日本抗加齢医学会 事務局

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 6-3 日本橋山大ビル 4F

E-MAIL [info@anti-aging.gr.jp](mailto:info@anti-aging.gr.jp)